

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
2年集中	2	1	教職必修
担当教員			
山村 節子			
添付ファイル			

講義概要	特別支援教育の理念や制度、その仕組み等など基本事項を理解する。 特別な教育的支援を必要とする生徒の学習上または生活上の困難を理解し、個に応じた教育上望ましい支援方法や配慮事項について理解する。		
授業計画	第1回	特別支援教育の理念と制度 ICFの観点から特別支援教育の理念や実現のための制度について説明する。AL①② 準備学習 教科書の該当箇所を事前に読む。 評価 講義テーマに関するレポートを提出する。	
	第2回	高等学校における特別支援教育の仕組み 高等学校における特別支援教育のねらいや制度について説明する。AL①② 準備学習 教科書の該当箇所を事前に読む。 評価 講義テーマに関するレポートを提出する。	
	第3回	注意欠陥多動性障害のある生徒の理解と支援 注意欠陥多動性障害の特性を理解し、教員としての配慮事項を考える。AL①② 準備学習 教科書の該当箇所を事前に読む。 評価 講義テーマに関するレポートを提出する。	
	第4回	学習障害のある生徒の理解と支援 学習障害の特性を理解し、教員としての配慮事項を考える。AL①② 準備学習 教科書の該当箇所を事前に読む。 評価 講義テーマに関するレポートを提出する。	
	第5回	自閉症の生徒の理解と支援 自閉症スペクトラム障害の特性を理解し、教員としての配慮事項を考える。AL①② 準備学習 教科書の該当箇所を事前に読む。 評価 講義テーマに関するレポートを提出する。	
	第6回	視覚障害、聴覚障害のある生徒の理解と支援 視覚障害、聴覚障害の特性を理解し、教員としての配慮事項を考える。AL①② 準備学習 教科書の該当箇所を事前に読む。 評価 講義テーマに関するレポートを提出する。	
	第7回	肢体不自由、病弱の生徒の理解と支援 肢体不自由、病弱の特性を理解し、教員としての配慮を考える。AL①② 準備学習 教科書の該当箇所を事前に読む。 評価 講義テーマに関するレポートを提出する。	
	第8回	共生社会にむけて障害のある方とコミュニケーションを取り、相互理解を図る 視覚障害 聴覚障害 肢体不自由など疑似障害者と健常者がコミュニケーションを取って、 障害者スポーツを行う。AL①② 準備学習 前回までの講義で学習した障害の特徴や特にコミュニケーションについて確認しておく。 評価 講義テーマに関するレポートを提出する。 定期試験	
授業形態	教科書を用いた講義 障害の疑似体験		
達成目標	①特別支援教育の理念や制度、仕組みなど基本事項を理解する。 ②特別な教育的支援を必要とする生徒の障害特性と支援方法を理解する。 ③障害の疑似体験を通して障害のある人との共生社会形成について考えをまとめることができる。		
評価方法・フィードバック	各講義後のレポート（70％）講義内の発表、授業態度（30％）等により総合的に評価する。原則として、レポート等のフィードバックは次回以降の授業内で実施する。		
評価基準	秀：90～100点 優：80～89点 良：70～79点 可：60～69点 不可：59点		
教科書・参考書	教科書：「高等学校教育のための特別支援教育入門」大塚玲編著 萌文書林		
履修条件	特になし		
履修上の注意	特になし		
準備学習と課題の内容	学習内容をよく理解するために、事前に必ず教科書を一読し、理解できない箇所や疑問に思う点などをチェック（確認）したうえで、授業に臨むこと。（毎回、予習復習それぞれ1時間程度）		

ディプロマポリシーとの関連割合 (必須)	知識・理解：30%, 思考・判断：20%, 関心・意欲20%, 態度15%, 技能・表現15%
DP1 知識・理解	
DP2 思考判断	
DP3 関心意欲	
DP4 態度	
DP5 技能・表現	